

育てるチカラ うまれるチカラ



大塚由紀子
Otsuka Yukiko

vol.7 | 株式会社サンアメニティ

〔取材現場〕
台東複合施設いきいきプラザ

障がいがあっても大丈夫。一人分の労働力として十分期待できます

ビルメンテナンス事業、スポーツ施設の管理業などを営む(株)サンアメニティ。今回取材に伺った東京・台東複合施設いきいきプラザの現場では、日常清掃と設備メンテナンスを請け負っています。行政窓口、貸し会議室、老人介護施設などからなる建物で、入社2か月目の障がい者と一般スタッフとがともにチームを組んで日常清掃業務にあたっています。取締役の布施賀晶さん、業務推進室長の内田人己さんにお話を伺いました。

採用方法の見直しにより 安定感のある雇用へ

おおつか：現場でのお仕事ぶりを拝見し、入社2か月目とは思えないほどのチームワークを感じました。

布施さん：ありがとうございます。本人（障がい者スタッフ）が頑張ってくれるのはもちろん、現場スタッフが協力的で、よいチームになりつつあります。

内田さん：じつは以前にもこの現場で3人の障がい者を雇用していたんですよ。語弊のある言い方ですが、以前の3人に比べて、今回入社してくれた陣内^{じんのうち}のぶゆきさんは安定感があるというか、すごく楽というか。

おおつか：以前の障がい者雇用のときは安定感がなかったということですか？

内田さん：2人はあつという間に辞めてしまいました。残りの1人はそのあと1年くらい頑張ってくれた。でも、体調不良で欠勤や早退が多かった。彼を紹介してくれた福祉施設の職員は、しょっちゅう「すみません」って謝罪に来てくれたけど。現場に穴が開いてしまうのでフォローが大変でした。

おおつか：なぜ今回の障がい者採用には「安定感」があるのでしょうか？

布施さん：いまから思えば、就労の準備ができていない人を採用してしまっていたのだと思います。障

取材協力先

(株)サンアメニティ | 東京都北区

従業員数698人（うち障がい者15人）。1979年設立、1997年より、障がい者を採用。障がい者スタッフは、オフィスビルの日常清掃や給食業務の調理補助などを担当している。

<http://www.sunamenity.co.jp/>

取締役 CSR担当
布施賀晶さん（左）



業務推進室長
内田人己さん（右）

